

平成 29（2017）年度 「住まいとコミュニティづくり活動助成」 中間報告

団体名

古町花街の会

活動のテーマ

伝統的料亭型花街での景観まちづくりに向けた活動

活動の対象地域

新潟県新潟市中央区古町(主に西堀前通 8・9 番町、古町通 8・9 番町、東堀通 8・9 番町)

活動地域の概要

花柳界は古典芸能、茶道、華道、衣装、食文化等の日本の伝統文化を包括的に継承する希有な場であり、それを都市空間として具現化した花街は茶屋、料亭、置屋等の花街建築や小路、路地等で構成されます。新潟市中心部に位置する古町花街は現役の料亭が数多く残り、歴史的景観を継承する料亭中心の花街として全国随一といえます。古町花街は新潟市の活性化にも密接に関わるため、景観保全や周知を図ることによる花街の活性化はまち全体にとって重要だと考えられます。しかし、未だ景観保全に関する地区指定はなされておらず、その存在や価値を周知するための案内板等も設置されていません。また、花街の利用者層の拡大に取り組む上で、地区内における防災・防犯意識を向上させることも地区の課題といえます。

団体設立経緯

古町花街に今も生きる日本の伝統文化(古典芸能、茶道、華道、衣装、食文化等)や歴史的建造物群といった貴重な財産を、次世代に継承していくことへの機運が地区内外で高まったことをきっかけに、新潟市景観形成推進組織の認定組織として 2012 年 6 月に設立しました。

古町花街の会はこれまでに、古町花街の景観整備並びに芸妓育成等に関する市長への提案を行っており、これまでに地区内の道路の石畳化、道標の設置、古町芸妓の育成支援金等が実現しています。また、新潟市に対しては、市が定める「新潟市民文化遺産」への古町花街の認定や、「広小路」における街路樹を樺から柳に樹種変更する提案及び剪定協定の締結を働きかけ、ともに実現しました。さらに、毎年開催される古町芸妓総出演の舞踊公演「ふるまち新潟をどり」では、当日の呈茶席やグッズ販売等の企画・運営、をどりに先駆けて鑑賞のポイントを勉強する講習会の実施にも協力しています。加えて、2009 年から新潟まち遺産の会と新潟大学都市計画研究室が中心になって毎年開催している「柳都新潟・古町花街イベント」に、2014 年からは本団体も主催として加わり、花街文化や景観的魅力の発信、地区内にある空き家の活用等にも取り組んでいます。このように本団体はこれまで古町花街の活性化を図るために、景観保全、芸妓育成、情報発信などのあらゆる側面からの活動を実施してきました。

また、新潟大学都市計画研究室と協働で、2016 年には花街の景観演出を目的とした提灯の試作品を製作し、デザインや形状、材質、設置方法等の検証及び実証実験を行ってきました。

## 第25回「住まいとコミュニティづくり活動助成」中間報告

### テーマ：伝統的料亭型花街での景観まちづくりに向けた活動

当会では、湊町新潟の貴重な資産である古町花街の価値を広く情報発信するとともに、景観整備及び防災・防犯に対する機運を高めることを目的として、以下の三つの活動を実施しています。

- ①提灯掲出による情緒ある景観の演出
- ②案内板の設置による情報発信
- ③防災体制の強化

#### 【活動の進捗状況】

##### ①提灯掲出による情緒ある景観の演出

提灯掲出の活動趣旨や設置方法、費用等に関する住民や商店主への説明に関して、当初は日時と会場を設定し説明会を行うことを想定していましたが、参加者の日程調整の難しさや一対一の会話の必要性等を考慮し、個々の店舗へ営業時間外に直接お話に行く方法を取つことにしました。今年3月から掲出活動を始め、現在は地区内の約50軒の建物に掲出されています。

また、提灯の掲出活動を知ってもらうため、「ふるまち新潟をどり」の会場等でも提灯を展示しました。



提灯の掲出風景 1  
(東新道)



提灯の掲出風景 2  
(美や古前)

毎月の定例会にて、提灯の設置状況の報告を行い、設置に関する問題が発生した場合、その解決方法を相談し、解決に取り組んできました。併せて、現在の設置状況や景観演出の効果等を定期的に現地で確認し、優先して掲出を進めるべきエリア等についても相談を行ってきました。

検討の結果、次に設置を呼びかける地区を決定し、8月中旬に新たに必要となる提灯を発注しました。10月中旬に提灯が納品されたため、現在地区内の料理屋や飲食店に提灯設置への協力を呼びかけています。

##### ②案内板の設置による情報発信

これまで、毎月の定例会にて、古町花街の周知を図る上でより効果的な案内板の設置場所を検証してきました。10月からは、案内板の説明文の検討を行うとともに、そのサイズや形状、デザイン等を設置場所の様々な条件を基に検討しています。



提灯掲出状況の確認及び  
優先掲出エリアの検討



提灯の広報活動  
(新潟をどり会場)



定例会の様子  
(三業会館)

### ③防災体制の強化

6月18日(日)に「第9回 柳都新潟・古町花街イベントまちを未来へ～防災と景観保全を考える～」を開催し、地元住民やまちづくり関係者など50名以上が参加しました。

講師には、立命館大学歴史都市防災研究所の金度源准教授を招き、歴史的町並みの防災対策をテーマに講演して頂きました。講演では、先斗町(花街)や清水寺等のソフト・ハード両面での防災対策の実例を紹介して頂き、古町の防災対策に直接活かすことのできる制度や取り組みを学びました。

また、地元の町内会長と消防団幹部の方にも登壇して頂いたパネルディスカッションでは、現在の古町周辺の防災・防犯に関する取り組みと今後の課題について、議論を深めました。

シンポジウムの終了後は、金先生とともに古町花街を歩き、防災上の課題や解決方法を検証しました。

さらに、シンポジウムと並行し、6月17日(土)、18(日)に地区内にある数寄屋風建築の元邦楽師匠宅兼稽古



防災シンポジウムの様子  
(三業会館)



古町における防災上の課題検証の様子



建物公開イベントの様子  
(旧花岡邸)

場「旧花岡邸」を特別公開し、花街のパネル展を開催しました。これにより、建物の活用手法の検証、花街の情報発信を行いました。

7月以降は、定例会にて防災シンポジウムのフィードバックを行い、防災上の課題について相談を重ねています。12月上旬には、防災対策がソフト・ハードともに充実している、川越市の重要伝統的建造物群保存地区及び菓子屋横丁を視察します。視察では、防災設備の整備状況や地区住民の防災意識向上に向けた活動手法等を中心に、景観保全や文化財保護の制度導入、歴史的建造物の活用手法等についても学び、今後の計画作成や活動に活かす予定です。



建物公開イベントの会場(旧花岡邸)

#### 【今後の予定】

- |  |   |
|--|---|
| ①提灯掲出による情緒ある景観の演出<br>10月：掲出協力の呼びかけ(～3月)<br>掲出状況の確認(毎月) | ③防災体制の強化<br>10月：視察会の計画立案(～11月)<br>防災計画案作成に向けた情報収集(～12月) |
| ②案内板の設置による情報発信<br>10月：案内板説明文の検討(～12月)<br>デザインの検討(～12月) | 12月：川越へ視察会実施<br>視察会のフィードバック                             |
| 11月：試作品の作成<br>設置場所の調整(～12月)<br>地元組織との調整(～12月)          | 1月：防災計画案の検討<br>①・②・③<br>2月：今後の活動計画作成(～3月)               |
| 12月…業者との相談、発注(～1月)                                     |   |
| 3月…案内板の設置完了  |   |

古町花街の会